

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 百日咳

47件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり1.91人の報告があり、増加が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

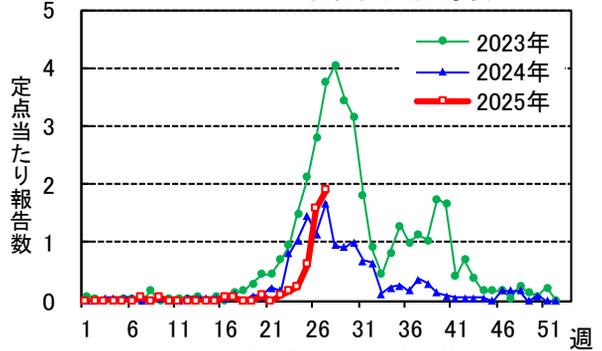
3 伝染性紅斑

定点当たり4.27人と、多い状況が続いています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

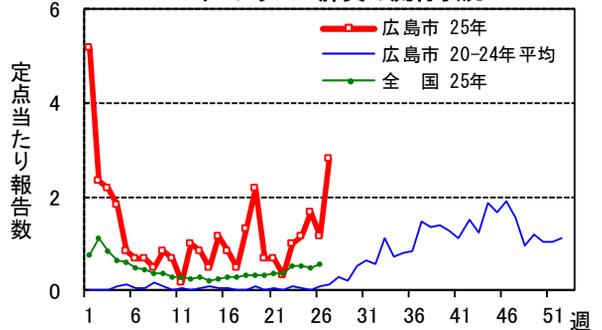
4 マイコプラズマ肺炎

定点当たり2.83人と、増加しています。発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられ、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

ヘルパンギーナの流行状況(広島市)



マイコプラズマ肺炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1915	54.71	/	→	小児科	突発性発しん	7	0.32	0.27	
	インフルエンザ	3	0.09	0.18			ヘルパンギーナ	42	1.91	1.29	↗
	新型コロナウイルス(COVID-19)	30	0.86	/	↗		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.05	2.02		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.48	↘		流行性角結膜炎	14	1.75	0.33	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.68	1.30	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	116	5.27	4.07	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	3	0.14	0.16			マイコプラズマ肺炎	17	2.83	0.14	↑
	手足口病	21	0.95	6.01	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	94	4.27	0.02	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	64	70歳代
4	レジオネラ症	1	19	10歳代
5	百日咳	47	522	10歳未満・14人、10歳代・24人、20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・3人、70歳代・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染症	
		第23週	2,373	2	13	4	11	88	153	3	4	84	6	4	1	-	18	-	-	-	6	-
第24週	2,086	17	21	3	24	97	136	7	11	61	3	5	5	-	12	-	-	-	7	-	-	
第25週	1,867	15	21	-	15	60	170	10	25	94	9	14	2	-	15	-	-	-	10	-	-	
第26週	1,979	7	24	3	20	65	145	2	23	95	4	35	3	-	16	1	1	1	7	-	1	
第27週	1,915	3	30	1	11	59	116	3	21	94	7	42	1	-	14	-	-	-	17	-	-	
定 点 当 た り	広島市	第23週	67.80	0.06	0.37	0.18	0.50	4.00	6.95	0.14	0.18	3.82	0.27	0.18	0.05	-	2.25	-	-	1.00	-	0.17
		第24週	59.60	0.49	0.60	0.14	1.09	4.41	6.18	0.32	0.50	2.77	0.14	0.23	0.23	-	1.50	-	-	1.17	-	-
		第25週	53.34	0.43	0.60	-	0.68	2.73	7.73	0.45	1.14	4.27	0.41	0.64	0.09	-	1.88	-	-	1.67	-	-
		第26週	56.54	0.20	0.69	0.14	0.91	2.95	6.59	0.09	1.05	4.32	0.18	1.59	0.14	-	2.00	0.17	0.17	1.17	-	0.17
		第27週	54.71	0.09	0.86	0.05	0.50	2.68	5.27	0.14	0.95	4.27	0.32	1.91	0.05	-	1.75	-	-	2.83	-	-
	全国	第25週	51.95	0.27	1.00	0.24	0.73	2.60	5.81	0.44	0.33	2.53	0.38	0.62	0.09	0.03	0.87	0.02	0.04	0.50	-	0.05
		第26週	50.58	0.27	1.40	0.28	0.73	2.54	5.57	0.55	0.42	2.13	0.38	1.02	0.09	0.02	0.88	0.02	0.05	0.58	0.01	0.03

■病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	AH1N12009型 インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルス (H3型)	B型インフルエンザウイルス (ヒクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パライフルエンザ ウイルス1型	パライフルエンザ ウイルス2型	パライフルエンザ ウイルス3型	パライフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルスノ エンテロウイルス	アデノウイルス
第22週	11	8												6	3	1
第23週	18	11					3		1					3	7	2
第24週	16	12					1		2					7	3	1
第25週	19	14					4							4	1	5
第26週	14	10					1							6	1	2

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)

【参考】海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！

海外では、日本にはない感染症がたくさんあります。夏季休暇に海外旅行を予定されている方は、渡航先で流行している感染症の情報を事前に入手し、注意すべき事柄を確認しましょう。

海外渡航に際し推奨されている予防接種で、まだ受けていないものがあれば、時間的な余裕をもって医師に予防接種の相談をするなど、適切な感染予防を心がけましょう。

滞在中は、火の通っていない食べ物、生水や氷は避けましょう。また、動物や虫などを介した感染症が流行している地域があるため、野良犬や野生動物との接触を避ける、虫よけスプレーを使用するなど、感染症予防を心がけましょう。

【詳しくはこちらをご覧ください】

海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1022982.html>



海外へ渡航される皆さまへ！(厚生労働省検疫所)

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp